

神聖復活目覚めの印

西園寺昌美

神聖復活目覚めの印は

本来、人に見せるために組む印でもなければ
人に教えるのでもなく

ましてや 決して押しつけるものであってもならない

いよいよこの印を

世界人類に知らしむる時が天から降ろされた

地球世界、人類の終わりを示すような昨今の様相は、まさに人

類の終わりではなく、歴史始まって以来の輝かしい未来を築き

上げる、神聖復活の始まりなのである

全人類が同じ人間としてこの共通の印を組むことにより

全人類が全く一つに神聖なる絆で結ばれてゆく

人類、民族、宗教、国境の壁や差別、分離などは光で払い浄め

られ

人類の固く閉ざされた心に一筋の光が入り

誰もがみな、神聖であったことを次々と自然に思い出してゆく

この崇高で輝かしい

神聖復活目覚めの印を組む時は

無私無欲、唯ひたすら無心になつて

神と一体となり、人類をつなぐ光のラダーとなるのである

その余りにも 神々しく美しい神印を見て

見る人々の魂は揺さぶられ

「吾は、神を見たる」と思わず思わせるほどに

この神秘にして崇高なる印を「我もまた組んでみたい」と願う

までに

人の心をひきつけ魅了し尽くす印なのである

この印は

人に見せるために組む印でもなければ

教えるのでもなく

ましてや 押しつけるものでもない

人類の固く閉ざされた心を開き

誰もがみな神聖であったことを

思い出させる印なのである

同じ人間として この印を組むことにより
ラダーという

人種、民族、宗教、国境・・・

それらを一つにつないでゆく
聖なるはしごととなるのである

(注) ラダーとは、二元対立をすべてつないでゆく梯子の役割。

これからは、リーダーという言葉はなくなつてゆく。

リーダーは、まさに教える人と学ぶ人との二元対立のもととなる。故に、上から一方的に教えるのではなく、かつまた、下からリーダーに学ぶことではなく、ラダーは、上と下、下と上、すべての対立をつなく重要な要、鍵なのである。

※ 「神聖復活目覚めの印」は二〇一九年九月より名称が変わり、「神聖復活の印」となりました。